

別紙様式 1

平成28年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立埋蔵文化財総合センター	施設所在地	板野郡板野町犬伏字平山86番2
指定管理者名	公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター	指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日
施設所管課	教育文化課	【連絡先】	3186

1 施設の概要

設置年月日	平成7年11月3日
設置目的	埋蔵文化財を保護し、かつ、その活用を図り、県民文化の向上に資するため、埋蔵文化財保護行政の拠点とする
施設内容	展示室、研修室、実習室、図書閲覧室、西山谷2号墳石室展示施設、弥生の音色広場ほか
利用料金等	無料
開館日・休館日等	休館日：月曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、12月28日から1月4日、特別整理期間（毎年1回10日以内）

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	<p>1 徳島県立埋蔵文化財総合センターの設置及び管理に関する条例第2条第3号に掲げる業務のうち、展示資料の供覧に関する業務及び同条第4号に掲げる業務のうち、教育委員会が必要と認める業務</p> <p>2 センターの施設等の維持管理（教育委員会が指定する補修等を除く）に関する業務</p> <p>3 その他センターの管理に関し教育委員会が必要と認める業務</p>
------------	---

3 施設の管理体制

管理体制	<p>正職員 2 名 臨時職員 1 名 計 3 名</p> <p>徳島県立埋蔵文化財総合センターの施設では、展示室・研修室・実習室・図書閲覧室、西山谷2号墳石室展示施設、弥生の音色広場等を指定管理の対象としている。</p> <p>施設管理については、管理者1名、事業課の専門研究員1名が指定管理業務主任者を兼務し、受付案内に嘱託員1名を雇用して充てた。</p>
------	--

4 施設の利用状況

利用者数 (人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	28年度	349	623	602	1,443	1,808	563	2,773	1,021	780	766	1,244	1,139
前年度	219	627	589	780	1,173	501	1,858	797	517	560	638	751	9,010
前々年度	422	720	1,116	974	915	221	812	380	132	246	500	423	6,861

5 収支の状況

(単位：千円)

項目		平成 28年度	平成 27年度 (前年度)	平成 26年度 (前々年度)
収入	指定管理料	14,105	14,882	14,636
	利用料金収入	0	0	0
	事業収入	0	0	0
	その他	461	584	460
	計	14,566	15,466	15,096
支出	人件費	7,495	7,350	6,895
	管理運営費	5,435	5,166	5,490
	事業費	1,010	1,804	1,593
	その他	626	1,146	1,118
	計	14,566	15,466	15,096
収支		0	0	0

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	<ol style="list-style-type: none"> 1 企画展の看板、展示解説シートなどを自主製作し、コスト削減に努めた。 2 備品の修理について、可能な限り内部努力で実施することで、コスト削減に努めた。 3 自主事業において、体験学習の材料費や各種講座の資料代を参加者の自己負担とした。
サービス向上の取組	<ol style="list-style-type: none"> 1 考古学専門講座を開催し、生涯学習への意欲を高めている県民のニーズに応じた。 2 「アワコウコ楽倶楽部」と展示会や研究大会を共同開催した。 3 歴史文化遺産の保存や活用を題材としたボランティア養成講座を実施した。 4 来所者出入り口やトイレに消毒液を常備してインフルエンザなど流行性疾患の予防に努めた。 5 埋蔵文化財センターボランティア「アワコウコ楽倶楽部」へ活動のサポートを行った。 6 来所者が遺跡や出土品に興味を持ち、より深い知識を得るため、タブレットなどの電子端末機器を利用した情報提供を開始した。 7 矢野銅鐸の4K画像放送を常時放映し来館者サービスに努めた。 8 高齢者や身体障害者への歩行補助機能として電動アシストカーを常置した

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	<ol style="list-style-type: none"> (1) アワコウコ楽の逸品 6/18(土)～8/21(日) 「古代人とハス」 (2) 長国の埋蔵文化財参 8/27(土)～10/16(日) 「アワの古墳ナガの古墳」 (3) レキシルとくしまミニ展示① 4/1(金)～5/29(日) 「徳島の縄文遺跡から」 part II (4) レキシルとくしまミニ展示②12/3(土)～12/25(日) 「板野町の文化財 地蔵時の経筒」 (5) 第2回四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 <ul style="list-style-type: none"> ・H29/1/10(火)～3/19(日) 「戦国時代の四国一城と館の出現ー」 ・2/19(日) 講座「戦国時代の阿波」 ・3/12(日) 講演会「戦国時代の土佐・伊豫・讃岐」 ・おもしろ古代体験「宴会の土器ーかわらけーを作ろう！」2/5(日) 成形 2/26(日) 焼成 ・地域ボランティアと共催事業「タイムスリップ! 戦国時代」着物着用体験 2/12(日) ・バスツアー「吉野川中流域の遺跡巡りー中世のお城をたずねてー」3/5(日) (6) アワコウコ楽デリパリー <ul style="list-style-type: none"> ・徳島県庁県民広場 6/3(金)～7/1(金) 「徳島の縄文土器」 ・徳島県庁県民広場 12/16(金)～12/28(水) 「徳島城下町の暮らし」 ・徳島県庁県民広場 3/20(月)～3/31(金) 「江戸時代のおもちゃ」 (8) スケッチコンクール 夏季 7月～9月 (9) 古代体験まつり 10/30(日)
----------	---

8 管理運營業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	・イベント毎に来館者へのアンケートを実施し、事業企画に反映させるよう努力している。 ・講座や企画展などが地元雑誌やケーブルTVに取り上げられるなど、施設のPRが浸透しつつある。 ・高齢者や、障害者の施設利用の補助用に電動アシストカーを配置した。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	S	・収蔵品を活かした、企画展や講座などを積極的に実施し、県民の興味・関心に大きく貢献している。 ・「発掘へんろ」は、四国内の埋蔵文化財調査機関が協力して企画展や講演会などを開催するもので、文化財の連携において先駆的な事業として県民各位より評価を得ている。 ・ボランティア組織の育成から活動支援までを一体的に実施するため「史跡ウォーキング案内ガイドプロジェクト」「万葉の草花を楽しむプロジェクト」「古代ものづくりプロジェクト」と3コースの事業を実施し、文化財ボランティア養成のための先進的な取り組みを行っている。 ・徳島県立埋蔵文化財総合センターの施設外において、埋蔵文化財の展示・解説を行うことにより、センターの利用促進を図るため「アワコウコ楽デリバリー」を徳島県庁で3回実施した。 ・「古代体験まつり」の開催において人気企画の「ガラス玉作り」や「勾玉作り」以外に低年齢の子ども体験できる内容を充実させたことで、多くの方が来館して楽しめる企画（ドロメノコ、竹鉄砲作り等）を実施した。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	・県民利用の設備については、定期的なメンテナンスを実施するなど、適切に管理している。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	・体験学習など材料費が伴うものについては、参加者の自己負担とし、コスト削減を図っている。
⑤管理運営体制等 ・管理運營業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	・セルフモニタリングの結果については、毎月10日までに報告書を提出している。 ・職員に対し、人権研修やAED講習などを実施している。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	・適切にイベント体験事業を実施するために、利用者サービスに対応できる人員の確保に努めている。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	・受付案内業務等に地元シルバー人材センターを活用しており、派遣された方がアワコウコ楽ボランティアに所属するなど、二次的効果が表れている。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	・センターで養成したボランティアが活動できる場の提供するとともに、自立した組織としての継続した活動の支援を実施している。 ・地元のボランティア団体の協力を受けられイベントでの共催事業を開催できた。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	・危機管理マニュアルを職員全員に配布し、周知に努めている。 ・避難訓練と防火教育の一環として、消防職員による消火訓練及び講話を実施した。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	・館内は適温を保てるよう、適切な温度管理を行っている。 ・屋外施設へのアクセス通路や屋外施設周辺の草刈りを職員やボランティア団体と行い環境美化に努めた。 ・ボランティア団体の協力により蜂須賀桜の植栽を行った。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	・関係規程については職員に配布し周知に努めている。 ・情報公開に関する規程を設け管理体制を整備している。
総合評価	A	・埋蔵文化財の保存・活用を図り、県民文化の向上に資するという徳島県立埋蔵文化財総合センター（レキシルとくしま）の設置目的に沿って、指定管理者業務を適切に遂行した。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

<p>・展示施設・研修室等の指定管理対象施設を拠点とした活動を地元のボランティア団体と連携して行ったり、自立するための支援を行うなど、地域連携が優れているが、埋蔵文化財公開活用の重要性が増す今日、より一層施設の利用促進に有効な手段を考えていく必要がある。</p> <p>・埋蔵文化財については、県民文化の向上、埋蔵文化財保護の観点から県民に広く公開し活用する重要性が高まっている。展示施設・研修室等の活動は、地元ボランティア団体と連携が図られ、ボランティア団体の自立に向けた支援も行われているが、より一層、施設の利用を促進する必要がある。</p>
